

はいけん
へいわがくしゅう
いふがんがこうりゅう
ホームステイ

沖縄平和学習 少年の翼

主催／福智町交流事業実行委員会
日程／2泊3日 場所／沖縄県中城村
対象／町内の小学5～6年生

沖縄で平和の尊さを学ぶ

今年18回目を迎えた「少年の翼」は、沖縄県中城村の子どもたちと相互訪問し、ホームステイで交流を深める事業です。3回目から携わる松村敦美さんは、事業の目的をこう語ります。

「少年の翼は『交流』と『平和学習』の2本柱。中城村のみなさんは、とてもあたたかく歓迎してくれれます。子どもたちには、ぜひそのおおもてなしの心を学んでほしいですね。また、平和学習は、やはり『見て感じる』以上の方法はないと思います。沖縄戦体験者から直接話を聞いた年もあり、中にはショックを受ける子もいました。が、沖縄のきれいな所ばかりではなく、悲しみも知ってもらいたいと思っています。」



琉球文化の象徴といわれる「首里城」



河村雅さん(赤池)
今回、団長を務めて、大変だったけど楽しかったです。友達にも教えました。

「最初はみんな戸惑いがちですが、たどたどしい韓国語や英語にジェスチャーを交えながらコミュニケーションをとっていきます。2日目、3日目となると、日本の子が韓国の子か分からないほど打ち解けていますよ。」

沖縄を肌で感じかけがえのない平和と交流を学ぶ。



中城村のみなさんによる熱い歓迎

沖縄戦を知り平和への祈りをささげました

はいけん
がいこくご
こくさいこうりゅう
れきしがくしゅう

国際 日韓交流 交流事業

主催／福智町交流事業実行委員会
日程／2泊3日 場所／韓国泗川市
対象／町内の小学5～6年生

海を越えて友情を育む

わたしはこの日韓交流事業に参加して、本当に良かったと思っています。韓国の友達とも仲良くなれたし、韓国の文化や歴史について学ぶことができたからです。

韓国の踊りは、とてもゆっくり踊って悲しさを表現したり、逆に楽しさを表現したりしてすごいと思いました。また、送別式の笛の演奏もとてもきれいで、心に残っています。



韓国の衣食住を体感しました



平川結実さん(市場)
韓国語は難しかったけど、伝えようと思えば結構伝わって、うれしかったです。

「日本では当たり前前のごが、韓国では真逆だったりすることがあります。そういった、いろんな物や考え、人がいるということを受け入れることが、これからの社会に求められることではないでしょうか。」

国外に出ることで、わたし自身、改めて日本の良さを見つめ直すきっかけになっています。



青少年育成町民会議 副会長
交流事業実行委員会 副実行委員長
安武カズコさん(上野)

自分の勉強にもなるので、毎回、子どもたちと一緒に貴重な体験をさせてもらっています。



子ども会育成連絡協議会 事務局長
交流事業実行委員会 委員
松村敦美さん(伊方)

福智町交流事業実行委員会
【主な事業】 沖縄平和学習少年の翼、日韓交流
● 沖縄県中城村との交流は毎年8月に訪問(事前事後研修5回)、1月に受け入れ ● 韓国泗川市内の初等学校との交流は、隔年ごとに相互訪問(事前事後研修5回)

9月23日から2泊3日の日程で日韓交流の受け入れが行われ、韓国の友だちと1年ぶりに再会。地域交流センターでの歓迎式典では、昨年参加した子どもたちが盛大に出迎えました。

上野焼のルーツ 韓国の文化と風土、国際感覚を養う。



言葉以上に心で通じ合った3日間



福智町と泗川市の友好碑の前で